

IV 特別支援教育研究連合 各エリア部会

「この研究は公益財団法人日本教育公務員弘済会
宮崎支部からの助成金を受けて行っています」

宮崎・東諸県エリア部会

1 研究主題(テーマ) 「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 活動内容

(1) 組織

宮崎地区特別支援教育研究会と東諸県地区特別支援教育研究会、宮崎市内の県立特別支援学校5校(明星視覚、赤江まつばら、みやざき中央、みなみのかぜ、清武せいりゅう)

(2) 活動内容

期 日	事業名	活動の内容	会 場
7月16日(金)	県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第1回役員会	・令和2年度の活動報告 ・令和3年度の計画・予算検討	大塚中学校
9月21日(火)	県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第1回研究部会 (コロナ感染予防のため、ZOOMにて開催)	・本年度の活動について	各中学校
10月22日(金)	県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第2回研究部会	・各学校の課題と成果についての協議	大塚中学校
2月3日(木)	県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第2回役員会	・本年度の反省 ・来年度の計画	大塚中学校

3 本エリアの成果と課題

本年度は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響のために、なかなか第1回の役員会が開催できず、1か月ほど遅れてからの開催となった。また、全体会や活動の中心となる研修会についても実施できず、役員会のみを行った。

役員会では、本年度から新しい役員組織と役割分担のローテーションが始まったので、その確認を行った。また、部会の規約等の確認を行った。

本年度の研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の集合型の研修会は見送った。そこで、担当校7校による各校の取組に係る課題や成果について協議を行い、その協議で話し合われたことをホームページ上で発表するという形式をとることにした。

来年度の研修会は、明星視覚支援学校が担当校となる。

来年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける可能性があるため、リモートでの会議や研修会開催などが考えられる。その対応に工夫が必要だと考える。

日南・串間エリア部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応する教育の専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実を図る。

2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所
5月25日 →中止	○ 第1回日南・串間エリア部会役員会 ・ 総会、研修会について ・ 昨年度事業報告 ・ 今年度事業計画及び予算案について	中止
7月1日	○ 第2回日南・串間エリア部会役員会 ・ 総会資料（書面決議）について ・ 研修会について ・ 各地区研修充実費の活用について	有明 小学校
7月中	○ 日南・串間エリア部会総会（書面決議）	FAXにて 回答
8月4日	○ 日南・串間エリア部会研修会 講演会「高等学校における特別支援教育の取組」 講師 県立日南振徳高等学校 高等学校における通級による指導メンター 熊本 靖 教諭	ZOOM 開催
9月16日	○ 日南・串間エリア部会役員会 ・ 研修費充実費活用計画について ・ 日南・串間エリア部会教材活用集の作成について	ZOOM 開催
10月～12月	○ 日南・串間エリア部会教材活用集作成期間	各学校
2月	○ 第4回日南・串間エリア部会役員会 ・ 今年度活動反省、事業報告及び決算報告 ・ 次年度活動内容検討 ・ 南那珂ブロック部会教材活用集配布	有明 小学校

3 本エリア部会の成果と課題

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面決議を行い、研修会はZOOMでの開催にした。研修会では、県立日南振徳高等学校の通級指導の実践や合理的配慮についての研修を行った。

また、日南・串間エリア部会では、研修充実費を活用し、各地区の特別支援学級と県立日南くろしお支援学校の各学部で、授業づくりや生活指導に役立つ教材・書籍を購入し、実践することを主な活動とした。

購入した教材や書籍についての情報や活用内容を南那珂地域で共有することができるよう、教材活用集の作成に取り組むことができた。生活指導や授業づくりなど、今後の南那珂地域の連携を図りながら、特別支援教育の充実を目指していきたい。

課題として、特別支援教育に初めて携わる教員や、日々の生活指導、学習指導においてどのような指導を行えば良いか分からないという教員も多くいることから、手厚くサポートできるような研修を充実させる必要があると感じた。

都北エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「児童生徒の特別な教育的ニーズに応じた指導はどうあればよいか。」

「児童生徒の実態に応じた交流教育はどうあればよいか。」

2 活動内容

（1）活動内容及び計画

月	日	会の内容	場所
4	8（木）	○ 特別支援学級担当者等の調査（事務局）	※調査はF a xにて
4	22（木）	○ 臨時事務局・役員会	都城市立五十市小学校
6	17（木）	○ 事務局・役員会 ① 令和3年度総会資料（紙上開催）について ② 事業計画構想（新型コロナウイルス感染拡大防止対応）について ・ 夏期研修会 ・ 授業研究会 ・ 合同作品展 他 ③ 各地区役員引き継ぎと活動計画検討	都城市立五十市小学校
11	24（水）	○ 授業研究会 ○ 実践報告集の製本・発行	都城市立五十市小学校
1	21（金） ～ 24（月）	○ 合同作品展前日準備 【中止】 ○ 合同作品展・作品撤去 【中止】	都城市ウエルネス交流プラザ
2	17（木）	○ 第2回理事・事務局会 ・ 年間活動の反省、及び次年度に向けての協議	都城市立五十市小学校

3 本エリア会の成果と課題

（1）成果

- 今年度もコロナ禍にあったが、感染拡大防止に配慮しながら市の教科部会と合同の授業研究会を開催できたことは成果である。
- 児童生徒用のタブレットが普及している学校では、校内で活用可能なアプリによる自立活動の工夫や、タブレットを活用した教科学習活動に関する取組の工夫が見られた。
- 各校における合理的配慮の工夫について実践例の集約を行った。

（2）課題

- 教育講演会や合同作品展、地区別交流会など、コロナ禍の影響で実施できなくなった行事があった。次年度以降も新型コロナウイルス感染防止に向け、新しい生活様式を取り入れた研修及び行事の工夫と活動の精選が求められている。児童生徒を取り巻く学習環境も変化しているが、特別支援教育の観点から教育的ニーズに応じた取組を工夫していきたい。
- 本年度から校内の無線LAN化が図られることになった。しかし、機器や施設が充実する一方で、特別支援教育に関するコンテンツの活用やその充実が図られていない現状がみられる。また、情報機器を有効利用できる教師が不足している現状もあり、今後の早急な研修が求められている。
- 特別支援学級に所属する児童生徒や学級数は、毎年増えており、新規に特別支援学級を担当することになった教師も多数いる。また、元々専門的な資格や免許を所持していない教師が多い上に、今年度は、研修会等も実施できない現状があり、日々の教育実践で苦勞している会員が多かった。会員相互の交流や研修の必要性を感じるが、会員が学校や支援学級を離れることすら難しい児童生徒の事情もあり、研修機会の在り方を工夫していきたい。

小林・西諸県エリア部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 活動内容

期日（曜日）	事業内容	場所
4月 20日（火）	○ 第1回研修会（総会） ・ 研修計画及び予算案審議 ・ 役員選出（西諸特研役員）（運動会実行委員） ○ 合同運動会打ち合わせ	小林中央公民館
5月 13日（木）→延期	○ 第1回役員会 ○ 第1回合同運動会実行委員会	小林中央公民館
6月 7日（月）→中止	○ 合同運動会前日準備	小林市民体育館
6月 8日（火）→中止	○ 合同運動会	小林市民体育館
7月 9日（金）	○ 第1回役員会 ・ 講演会及びアンケートの検討	小林中央公民館
12月 20日（月）	○ 第2回役員会 ・ 校長会への要望の検討 ○ 第2回研修会「講演会」	小林中央公民館
2月 10日（木）	○ 第3回研修会 ・ 部会ごとに指導・支援についての意見交換	小林中央公民館
3月 3日（木）	○ 第3回役員会 ・ 本年度反省 ・ 次年度計画	小林中央公民館

3 本エリア会の成果と課題

(1) 成果

- 本年度は、第2回研修会で講演会を行った。『障がい福祉サービスについて～就学中の福祉支援及び卒業後の就労支援～』というテーマで、福祉サービスの内容や連携の在り方について学ぶ機会になった。今後福祉と連携する際や、児童・生徒のキャリア教育、保護者の教育相談等に活用できる内容であり、参加者の先生方に好評だった。
- 西諸県地区の特別支援教育の現状と課題の把握のために、地区内の学校にアンケートを実施し、第2回研修会で協議を行った。そして、特別支援教育の推進及びインクルーシブ教育の観点から校長会への要望をまとめ、1月に校長会へ要望としてあげる予定である。地区内の課題が明確になり、改善に向けて前進することができた。

(2) 課題

- 感染症対策を行いながら、以前のように児童の体験的な学習の機会を作ることが難しい。来年度は、運動会の在り方を工夫したり、それに代わる新しい行事を考えたりする必要がある。

西都・児湯エリア部会

1 研究主題

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

2 活動内容

(1) 活動内容

- ・ 役員会（年2回）運営及び会計業務
- ・ 令和3年度宮崎県特別支援教育研究連合西都・児湯エリア部会研究大会の企画
- ・ 令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会実行委員会発足
- ・ 研究大会内容の計画・検討、協議

(2) 活動計画

月	日	会議及び活動内容	県特研連関係
3	29	・事務局引継ぎ	
4	下旬	・6月の役員会の内容検討	
5	20		・第1回理事会及び代議員会（総会）
6	2	第1回役員会 ・令和年3度役員の確認 ・令和2年度事業報告、収支決算報告 ・部会会則及び部会の運営に関する確認 ・令和3年度事業計画、収支予算案審議 ・令和3年度研究大会に関する検討 ・第1回事務局会及び事務局連絡会報告	
6	9	・西都・児湯エリア部会および研究大会部会長との打ち合わせ	
7	29		・令和4年度研究大会事務局打ち合わせ
8	4	接続テスト ・西都・児湯エリア研究大会講師、参加者との接続テスト実施、打ち合わせ	
8	17	・令和3年度西都・児湯エリア研究大会の中止について（文書配付）	
8	19	西都・児湯エリア部会研究大会（中止） <研究発表> ○ 新田学園小学部 長友 三織 講師 <講演> ○ 都城市立西小学校 石本 隆士 指導教諭	
8	27		・令和4年度研究大会事務局打ち合わせ
9	16	第1回実行委員会 ・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会一次案内（案）の検討、協議	
10	28		・第2回事務局会及び事務局連絡会

11	18	第2回実行委員会	・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会事務局部会報告と今後の進め方について検討	
12	下旬		・令和3年度収支決算・会計監査	
1	下旬		・西都・児湯地区各校・るびなす支援学校で第2回役員会内容についての協議	
2	月上旬	第2回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告、収支決算報告審議 ・令和4年度事業計画案、収支予算案審議 ・西都・児湯エリア部会の運営に関する検討 ・令和4年度役員の確認 ・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯エリア研究大会に関する検討 ・令和4年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会の進捗状況と実行委員会メンバー確認 	
2	22			・第3回事務局会及び事務局連絡会

3 エリア部会の成果と課題

昨年に引き続き、8月の西都・児湯エリア研究大会が新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止になったため、研修の機会が得られなかった。大きな会場に集まる会ではなく、西都・児湯の市町村に拠点校を置き、本校をホストにオンライン開催で対応できるという計画であったが、大会当日の約1週間前から感染者が急増、新学期スタートまであと数日というタイミングで学校に外部の人間が入り出すことの危険性を鑑み、中止の決定を行った。参加者には事前に講演、実践発表の資料はお配りしており、各自で目を通し、疑問点などは講師が個別に対応するというで換えさせていただいた。

また、来年度は県の研究大会実行委員を担っており、委員会を9月に立ち上げて動き始めた。しかし県特研連の組織改編、大会の在り方の変更を受け、各障がい種別部会の担当との連絡調整に時間がかかり、計画通り進められていない状況である。担当している午前中の研究大会と午後の各障がい種別部会の概要が出そろえば、大会当日の流れがイメージでき、それに向かって実行委員会が何をすべきか、どう役割を分担するのか等が見えてくるのではと感じている。

さらに、感染状況等を見て、今現在は各会議をオンラインで対応しているが、やはり顔を合わせて意見交換ができればと思われる場面も多く、状況を見ながら会の在り方を検討していく必要性を感じているところである。

感染症対策や働き方改革により、県特研連研究大会の在り方が大きく変わる節目である。関わる職員が負担を感じずに業務に携わること、大会参加者が無理なく参加できる研修となることを大きな目標とし、準備を進めて行きたいと感じる。

日向・東臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

日向・東臼杵エリア部会は、宮崎県特別支援教育研究連合（以下、県特研連）の会員並びに趣旨に賛同する者で部会役員会の承認を得た者を会員とし組織されている。

具体的には、日向ひまわり支援学校長及び職員、日向・東臼杵地区（日向、門川、入郷）小・中学校（計40校）の学校長及び特別支援学級職員の会員をもって構成され、同地区の特別支援教育を推進し、会員の資質向上と連携を図ることを目的とする。

その目的を達成するために次の事業を実施している。

- 合同研修会、運動会、作品展の開催
- 特別支援教育に関する調査研究
- その他、本エリア部会及び県特研連の目的達成に必要な事業

2 活動内容

（1） 活動内容

① 活動計画

期日	事業名	場所	主な内容
令和3年 7月、8月	書面議決による 総会		令和2年度事業報告 令和2年度決算報告・監査報告 令和3年度事業計画案 令和3年度予算案 県特研連組織、エリア部会規約他
	知的部会研究大会と合同研修会を併催	オンデマンド 配信	講演・講義及び演習
令和3年 9月	役員会	日向ひまわり 支援学校	次年度の合同研修会や役員の在り方について
令和4年 1月、2月	なかよし アート展	各校ホームペ ージ	各学校の児童生徒作品の掲載

（2） 事業報告

- ① 8月 → 昨年度同様、書面議決による総会を実施
- ② 7月29日から9月30日 → 各校でまたは各々で動画を視聴
- ③ 9月 → 検討事項選定のため、1月に変更
- ④ 1月、2月 → 実施予定

3 本エリア部会の成果と課題

昨年度の活動や反省を活かし、本年度は書面議決やオンデマンドでの研修、ホームページの活用等（実施予定）、活動を実施することができた。また感染症対策とリモート環境の整備のため、日向地区特別支援教育研究会の話し合いを9月末頃に行った。そのため、例年実施している運動会の計画を立てることができなかった。

現在、日向・東臼杵エリア部会のアフターコロナにおける活動目標や内容について、アンケート調査を行っている。1月の役員会で次年度の目標や活動計画を検討していきたいと考えている。

延岡・西臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

卒業後の自立や社会参加の基礎となる意欲や力を育てる授業づくり

～「自ら考え・選び・決める力」を育て、思いを伝える子どもが育つ学習環境をめざす～

2 活動内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組んだ。

期 日	事 業 名	主な内容
5月28日（金）	第1回事務局会	・令和2年度の事業報告、決算報告 ・令和3年度活動方針について ・令和3年度の事業計画、予算案 ・総会、夏季研修会について
例年夏季休業中に開催	延岡・西臼杵 エリア部会総会 夏季研修会	・前年度事業報告、決算報告、本年度事業計画、 予算案等 * 総会については、総会議案を各学校に配布し、 FAX返信による書面議決とした
11月19日（金）	合同作品展 運営委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担等
1月29～31日	合同作品展	・各学校の幼児児童生徒の作品展
1月31日	合同作品展 反省会	・係からの反省 ・次年度に向けて
3月上旬～中旬	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継事項の確認

3 本エリア部会の成果と課題

本年度の総会は、上記「活動内容」にある通り、部会所属校に総会議案を事前配布し、書面議決をとる形で成立させることとなった。夏季研修会については、平成30年度に実施した「ワークショップ型授業研究会」を参考に、8つの分科会に分けて実施した。運営にあたり、コロナウイルス感染症の感染対策として、検温、マスクの着用、手指の消毒、常時換気、各分科会会場における参加人数の分散を心がけた。1～6分科会では延岡しろやま支援学校での授業実践の紹介、7～8分科会では小中学校の情緒障がい通級指導教室での授業実践の紹介が行われ、約170名が参加した。

合同作品展は、例年延岡市内の会場において実施されており、約500名の来場者がある地域に根ざした取組である。今年度は、カルチャープラザのべおかを会場とし、部会所属校に在籍する児童生徒が製作した作品を3日間に渡って展示する予定であった。しかし、コロナウイルス感染の影響により、中止となった。

エリア部会としては、コロナウイルス感染症の感染状況を常に把握し、感染対策の在り方について他県や他研究会の実施態勢に鑑みながら、企画・運営に取り組んだ。今後も夏季研修会や合同作品展等の実施内容及び実施態勢について、時代の動きを把握しながら、延岡・西臼杵エリアの特別支援教育の推進に寄与できるよう努めていきたい。